

WEEKLY SIGNAL

平成29年4月28日(金) 1372号

来週の市場とレート予想

上田八木短資株式会社

|        | 5/1(月)                                   | 5/2(火)   | 5/3(水)~5/5(金)                                       | 5/8(月)                          | 5/9(火)                     | 5/10(水)   | 5/11(木)  | 5/12(金)   |
|--------|--|--|---|---------------------------------|----------------------------|---|--|---|
| 無担保O/N | △0.086%                                  | ~ 0.001%   |   | △0.086% ~ 0.001%                |                            |   |  |   |
| 銀行券    | △2,300                                   | △2,000   |   | +4,000                          | +4,000                     | +3,000  | +2,000   | +1,000  |
| 財政他    | △9,300                                   | △10,000  |   | △34,000                         | +3,000                     | +2,000  | △23,000  | △20,000   |
| 資金需給   | 不11,600                                  | 不12,000  |   | 不30,000                         | 余7,000                     | 余5,000  | 不21,000  | 不19,000   |
| 主な要因   | 国庫短期証券発行・償還(3M)                          | 交付税特会借入・償還   |   | 消費税・法人税・保険揚げ<br>国庫短期証券発行・償還(3M) |                            |   | 国債発行(10年)<br>交付税特会借入・償還                          | 源泉税揚げ<br>国庫短期証券発行・償還(6M)                                |
| オペ期日   | 共通担保 △2,700<br>CP等買入 △300<br>補充供給 +2,400 |  | 祝日  | 共通担保 △1,500                     |                            |   |  |   |
| オペスタート | 共通担保 +2,600                              | 短国買入 +5,000  |   |                                 |                            |   |  |   |
| (日本)   |  | 金融政策決定会合の議事要旨(3月15、16日)<br>マネタリーベース(4月)<br>日銀営業毎月報告(4月30日現在)<br>日銀が保有する国債の銘柄別残高<br>日銀による国庫短期証券の買入額 |   |                                 | 毎月勤労統計(3月)                 | 金融政策決定会合の主な意見(4月26、27日)<br>景気動向指数(3月)             |  | 日銀営業毎月報告(5月10日現在)<br>日銀が保有する国債の銘柄別残高<br>日銀による国庫短期証券の買入額 |
| (海外)   | 米 ISM製造業景況指数(4月)                         | 米 FOMC(3日まで)<br>欧 ユーロ圏製造業PMI(4月、改定値)   | 5/3 米 FOMC声明発表<br>5/4 米 製造業受注(3月)<br>5/5 米 雇用統計(4月) | 米 労働市場情勢指数(4月)                  | 米 輸入物価指数(4月)<br>米 財政収支(4月) | 米 生産者物価指数(4月)<br>米 新規失業保険申請件数(6日終了週)<br>欧 ECB経済報告 | 米 CPI(4月)<br>米 小売売上高(4月)<br>米 シカン大学消費者マインド指数(5月) |   |

【インターバンク市場】

| 無担保ターム物 | 予想レンジ         |
|---------|---------------|
| SPOT 1M | △0.04 ~ 0.001 |
| SPOT 2M | △0.04 ~ 0.001 |
| SPOT 3M | △0.03 ~ 0.001 |
| SPOT 6M | △0.02 ~ 0.001 |

<インターバンク>

日銀当座預金残高は、週初353兆6,500億円から始まり、その後は国債・短国買入オペを主因に増加し、週末には356兆9,000億円となった。今週の無担保コール市場は全体的に資金余剰感が強く、前週に比べさらに軟調な地合となり、ON物加重平均金利は週を通して△0.07%台で推移した。ターム物は、1W~1M物で△0.03~△0.05%を中心に出合が見られた。日本銀行は27日、金融政策決定会合において政策の現状維持を決定した。また、「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」では、景気判断を従来の「緩やかな回復基調を続けている」という見解から「緩やかな拡大に転じつつある」に引き上げた。「拡大」の表現は2008年3月以来、約9年ぶりである。来週から再来週の予定は、国内では5月2日の金融政策決定会合の議事要旨公表、海外では5月5日の米雇用統計が挙げられる。

【オープン市場】

| CP3M(a-1+) | △0.001 ~ 0.001  |
|------------|-----------------|
| TDB 3M     | △0.200 ~ △0.100 |
| 現先(on/1w)  | △0.100 ~ 0.000  |

<CP>

今週の入札発行総額は約1兆7,300億円で、月末スタートの新規案件の増加により、週間償還額の約8,000億円(金融機関・ABC除外)を大幅に上回る結果となった。新発物の発行レートについては、投資家の旺盛な運用ニーズは変わらず、0.001%割れと横這い推移の出合いとなった。来週の発行市場は、大型連休の谷間ということもあって、取引閑散が予想される。償還額の約1,700億円に対し、発行減少となるだろう。発行レートは、投資家の運用ニーズは強く、横ばい推移と思われる。現先レートは△0.1%~0%程度の出合いで、横這い圏内での動きを予想する。

<TDB>

26日に国庫短期証券3M第679回債の入札が行われ、最高落札レートは△0.1383%(前回債△0.1343%)、平均落札レートは△0.1475%(同△0.1427%)と前回債とほぼ同水準の結果であった。週末の市場では△0.15%近辺の推移となった。6M、1Yは出合は見られなかった。来週は1日に3Mの入札が予定されている。

<レポ>

足許GCは週初△0.095%~△0.10%の出合い、月末取引となる28日受渡しは、S/Nで△0.15%近辺から出合いが付き始めたが以降レートは上昇。T/Nでは△0.10%近辺で多く取引された。5月入り後は短国の発行もあり△0.09%台まで上昇。週末の取引は連休を跨ぐ受渡しであったが、レート水準に大きな変化は見られず△0.10%近辺までの小幅低下にとどまった。SC取引では、10年346回債のビッドが週央の国債買入れオペ以降増加、ON物は△0.30%前後の取引が多く見られた。他2年373・374回債、5年126・129・130・131回債、10年333・334・335・345回債、20年160回債、30年52・53・54回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。